

宮城県及び山形県の連携に関する主な取組状況について (令和元年度)

令和2年9月

平成30年3月に策定した「新 宮城・山形の連携に関する基本構想 未来を共に創る 新MYハーモニープラン」では、これまでの成果や課題、両県を取り巻く社会経済情勢の変化、新たな連携の芽や可能性等を踏まえて「施策の4つの柱」を掲げ、その下に各般の施策を両県が連携し進めている。

〈主な連携取組〉

〔1〕 相互の助け合いのもと、安全・安心で、多様な人材が活躍する「地域・暮らし」の実現

(1) 災害に強い防災先進地域の形成

- ・総合防災訓練への相互参加
- ・意見交換や情報共有を目的として、山形県の国民保護訓練へ宮城県が評価者として参加

(2) 災害に強く持続可能な、自然と共生する暮らしの実現

- ・燃料電池や水素・関連技術等に関するセミナーを宮城、山形で共同開催
- ・産業廃棄物の不法投棄防止及び適正処理を監視・啓発するため、県境付近における廃棄物運搬車両の検問を南東北3県が連携して実施

(3) 震災復興で活躍した若者をはじめ、誰もが活躍できる地域の実現

- ・最上（山形）、雄勝（秋田）、大崎（宮城）の3地域が連携し、合同PRイベント（東北の「へそ」三県交流まつり）を開催し、スタンプラリーや誘客事業を実施
- ・宮城・山形若者未来創造フォーラムの開催

〔2〕 新たな発展の原動力となるインバウンドをはじめとした「観光・交流」の展開

(1) 戦略的なインバウンド推進による交流人口の拡大

- ・宮城・山形両県を対象とした旅行商品造成のための観光PRの実施
- ・東北観光推進機構を中心に、東北各県が連携して東北の交通情報を集約した一元化プラットフォームの構築等の取組

(2) 多彩な資源と機能を活用した競争力の高い観光地域づくり

- ・蔵王周辺観光共同パンフレットを作成
- ・高速道路SAにおいて共同の誘客キャラバンを実施

〔3〕 イノベーションの創出や成長期待産業の集積による活力ある「産業・経済」の振興

(1) 世界最先端技術の研究開発拠点の形成と成長期待産業の集積

- ・宮城・山形合同による「おいしい山形・食材王国みやぎビジネス商談会」を実施
- ・関東地区を中心としたメーカー・商社等と南東北3県の製造関係の受注企業が面談する機会を設け、企業振興を支援

(2) イノベーションの創出等による産業の活性化

- ・東北情報通信懇談会におけるICT利活用セミナー等の開催

〔4〕国内外との大交流を進め、リダンダンシー機能を担う「交通基盤」の形成

(1) 多様で重層的な環状交通ネットワークの形成促進等

- ・産業や経済等の交流基盤となるインフラ整備に向けた政府要望の実施

(2) 東北のゲートウェイ機能を担う両県の港湾、空港の利便性の向上と機能拡充

- ・各港湾の整備・振興を促進することを目的とし、東北地区港湾整備促進協議会において政府要望を実施
- ・仙台空港国際化利用促進協議会の場で、プロモーションへの協力等への検討実施